

子どもたち 上向いて歩んで

名古屋学芸大生 空テーマに遊びイベント



プライムツリー赤池と共催

「うつむきがちなコロナ禍」でも上を向いて歩いてほしい。いと、空への旅をテーマにしたイベント「いこうぜ！」

宇宙を描いたスマートボールで遊ぶ子どもたち。日進市赤池町のプライムツリー赤池で

そらべる」が十二、十三の両日、日進市赤池町のプライムツリー赤池で開かれた。

市内の名古屋学芸大と同施設が産学協同で開催。デザイン学科の三年生八人が子ども向けに、遊びながら気象や宇宙を学べるブースを制作した。雲の映像が流れる特大万華鏡や、画面に出ってくる天気イラストに合わせ「ザーザー」といった文字札を取るかるた、宇

宙の絵が台に描かれたスマートボールなど。子どもたちが駆け寄って遊んでいた。

ブースは低く設定し、新型コロナウイルス対策のため一人でも遊べるように工夫。また、空の青は色の配合を1%単位でこだわって明るい色に決めたという。学生代表の菊田光我(こうが)さんは「わくわくするイベントをつくりたかった。子どもたちに楽しんでもらって、デザインが心に届いていると実感できた」と手応えを話していた。

(長坂幸枝)